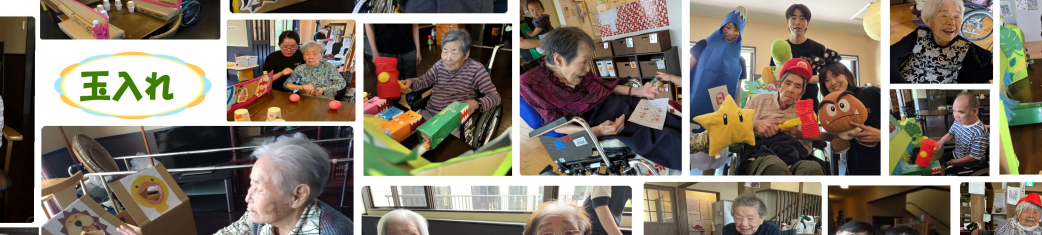
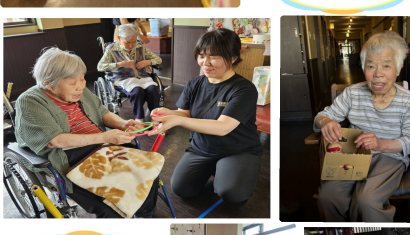
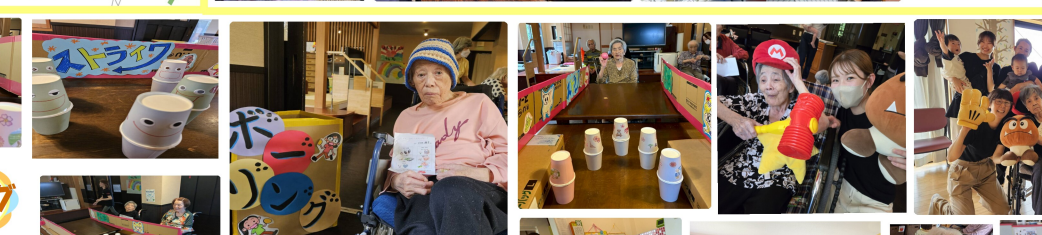
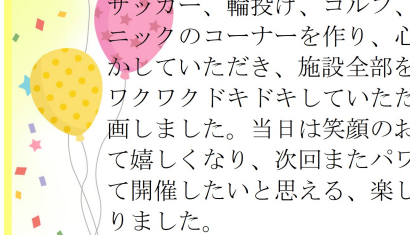
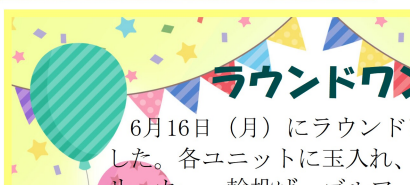


## 18メートルの ロールケーキ作りに挑戦！



## 創立記念イベント

すずの郷は創立18年を迎えました。  
今年は「18メートルのロールケーキを皆で作って祝いたい！」と、7月4日に記念式典を開催しました。会場に到着されたお年寄りからロールケーキ作りを開始し、全部で72本も完成しました。完成式では発案者のスタッフ池田さん、新井さんのデコレーションで1本の長いロールケーキに繋げて、わらべ館の子どもたちがチョコスプレーで飾りつけ、最後は特大クラッカーで大拍手！完成したケーキはその場でカットされ、豪華なお弁当とともにいただきました。司会は山口和子様、理事長のご挨拶に続き、森本治郎さんの乾杯の音頭で式典の始まりです。今年のテーマは「ワクワクドキドキを味わっていただく」お食事のスライドショー、巨大風船バレーゲームで身体を動かし、新人スタッフによるパフォーマンスはダンシングヒーロー♪余興では遠山晴英様によるハーモニカショー、カラオケの得意なお年寄りに盛り上げていただきました。今回のポスター作成を担当してくださった、金山喜保子様と村瀬春子様は「本当にいい会だった、盛り上がって楽しかった」と嬉しい感謝のお言葉をかけていただきました。  
19年目は更に「ワクワクドキドキ」、楽しいを大切に、スタッフ一同頑張っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。（本館マネージャー 中里大輔）



# すずの郷新聞

第148号

### 施設長のご挨拶

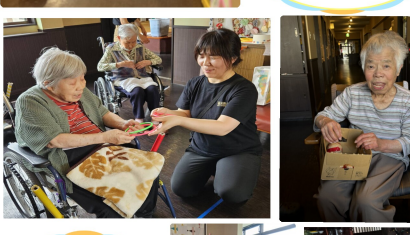
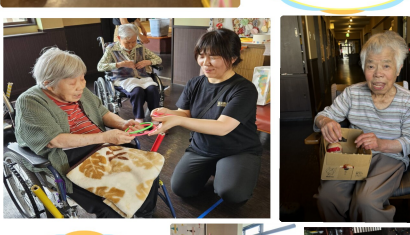
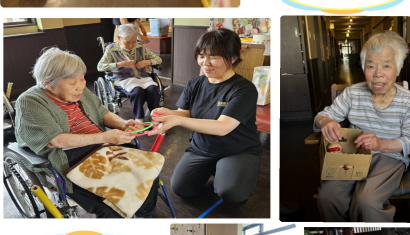
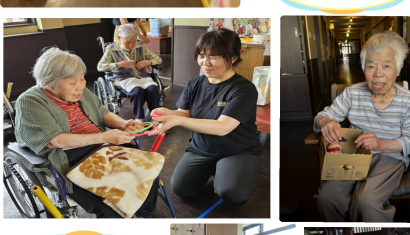
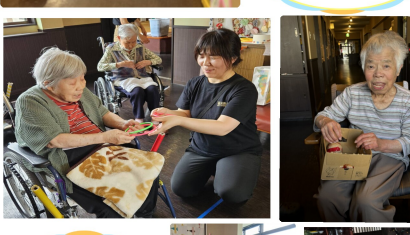
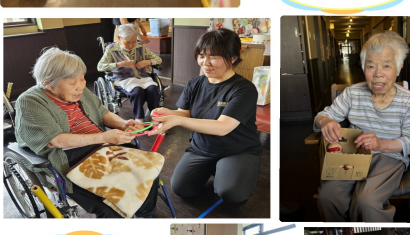
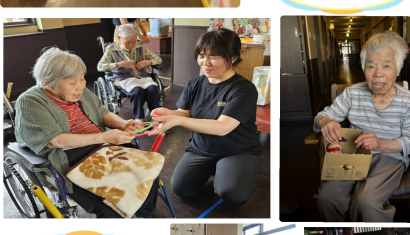
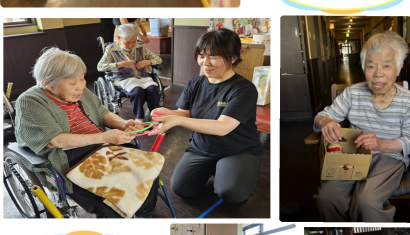
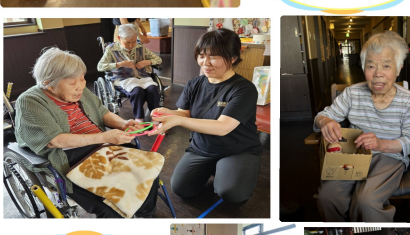
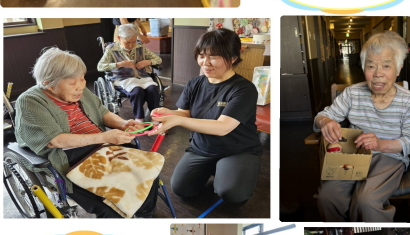
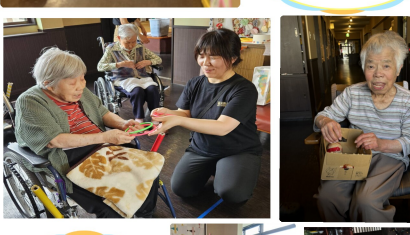
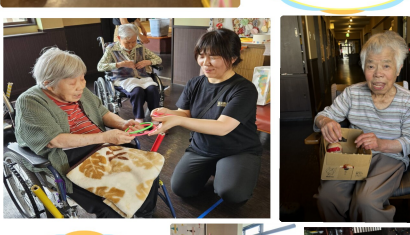
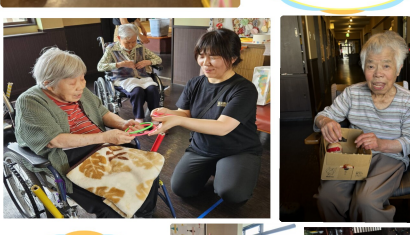
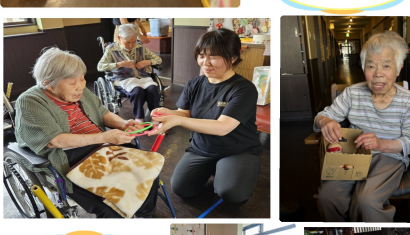
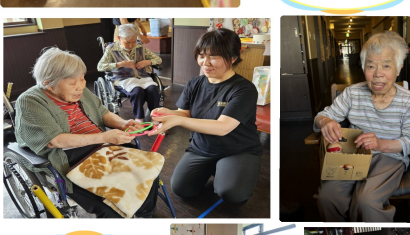
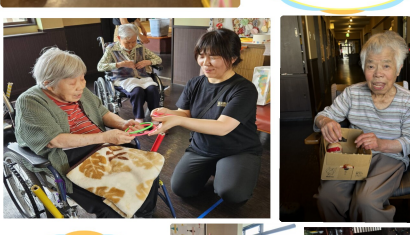
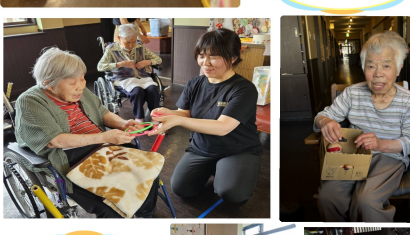
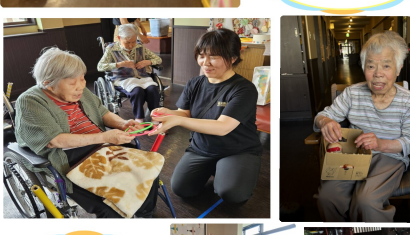
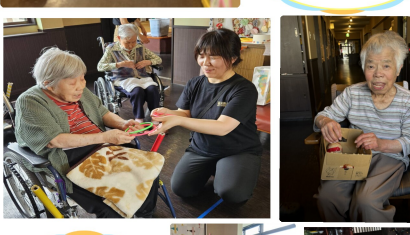
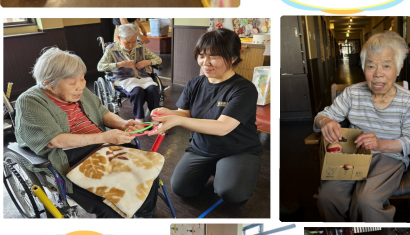
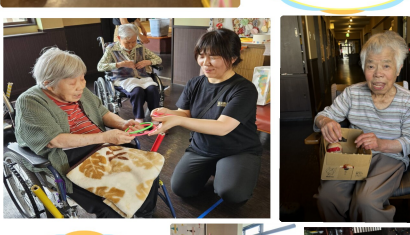
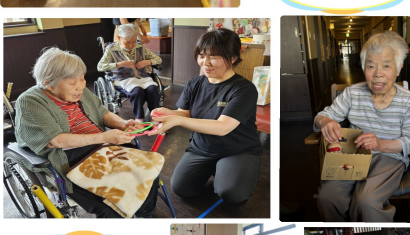
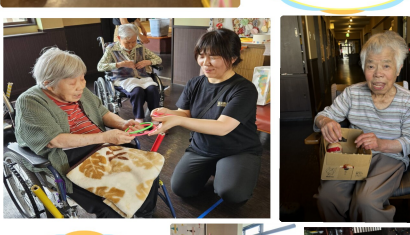
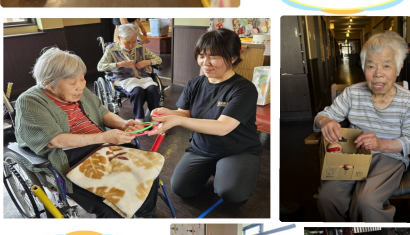
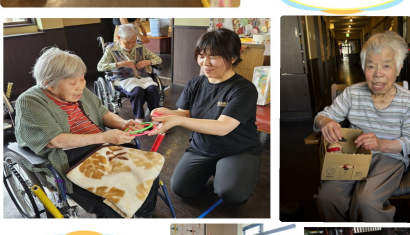
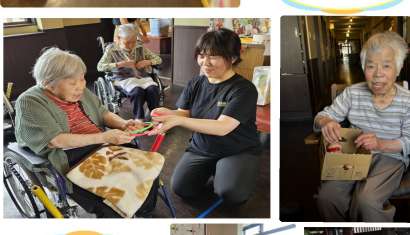
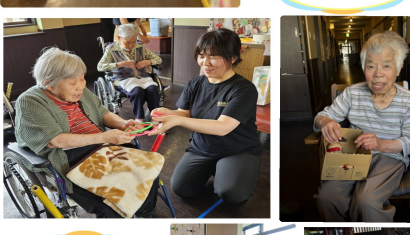
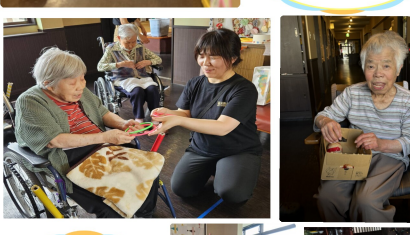
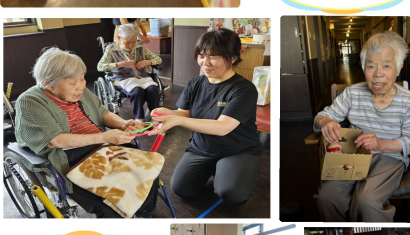
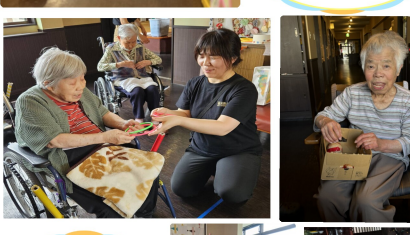
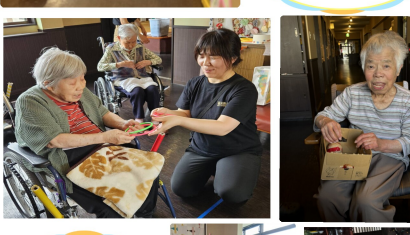
十八年間、長いようであつという間の日々。振り返ると出会った皆様お一人お一人から、多くを学び、気づかせていただきました。すずの郷を前進させてくださるのは、お年寄りの皆様とともに、過ごす日々の経験とご家族の支えがあってこそと、感謝申し上げます。  
今年は、お出かけやイベント、日々の生活をさらに充実させ、お元気に過ごしていただけるよう、盛り上げてまいります！

## ラウンドワン

6月16日（月）にラウンドワンを行いました。各ユニットに玉入れ、ボーリング、サッカー、輪投げ、ゴルフ、ワニワニパニックのコーナーを作り、心と身体を動かしていただき、施設全部を周りながら、ワクワクドキドキしていただけたらと計画しました。当日は笑顔のお年寄りを見て嬉しくなり、次回またパワーアップして開催したいと思える、楽しい一日となりました。  
杉村優輝



ボーリング





## 念願のご自宅へ

すずの郷へ入居されて以来、コロナ渦であったこともあり、中々ご自宅へ帰ることができなかった川口清子様。先日、ついに念願のご自宅へ帰ることができました。この日は午前中が大雨でしたが、午後からは天候にも恵まれ、安心して外出することができました。まずは清子様の好物、マクドナルドのポテトとストロベリーシェイクと一緒に食べ、いよいよご自宅へ。ご自宅の仏壇を前にして数珠を手に掛けられると自然と手を合わせられました。息子様が事前にご家族やご近所の方にも声をかけてくださったので、皆で団らんの、楽しいひと時を過ごすことができました。清子様は一人おひとりと目を合わせられ、喜びを分かち合っているように感じました。短い時間ではありましたが、清子様も私も、心には温かい気持ちが広がりました。ありがとうございました。（福田亜沙美）



## お出かけの紹介

### ひ孫様のチアの応援へ

オープン戦でチアダンスを披露することになったひ孫様を觀に、バンテリンドームへ行った塚本辻夫様。席へ着くとひ孫様が待っていてくれて、「塚じいちゃん！」の声に笑顔になる塚じいちゃん。チアを踊っているひ孫様を指さし「じいちゃん、あそこだよ！」とチアの衣装を着たひ孫様を目の前で見た塚じいちゃんは、さらにとっても素敵な笑顔になりました。夕食も一緒に食べ、大好きなビールを飲んでご満悦でした。野球が大好きだったじいちゃんですが、この時は、野球よりひ孫様お2人をずっとずっと見て、微笑んでおられました。帰り際、ひ孫様から「塚じいちゃん、また逢いに行くからね！」と言われて、嬉しそうに何度もうなづいていました。（青山めぐみ）



### 笠松競馬 そして、南知多へ

「俺は、楽しいことから卒業した」外出のお誘いを断り続けておられた三輪浩様の一言に、私は「好きだったこと、もう一度一緒にやろうよっ」諦めることは出来なかった。そんなある日の笑顔が軌道に乗せてくれ、最初に決まった外出先は笠松競馬場へ何とも浩様らしい。お誕生日祝いには「ドライブへ行きたい」と浩様の方からお声をかけてくださった。競馬場では欲しい馬券を大きな声で、目の前の馬を目で追うお姿に、私が嬉しくなった。2回目の外出は南知多。浩様の後ろに広がる海と空、幸せでしかなかった。最後に言われた浩様のお言葉。「（一緒に）楽しめたか？」に私は大きくうなづき「はい！」と返事した。（近藤時代）



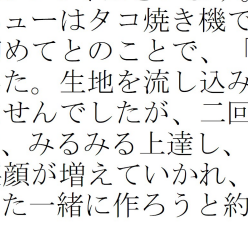
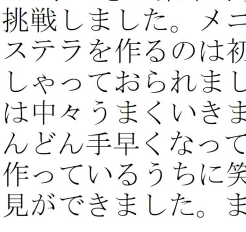
6月11日（水）は三重県亀山市、カメヤマローソクタウンへお出掛けしました。車中、金山喜保子様は景色を見て笑顔。昼食の七色食堂では、焼肉定食やエビフライ定食等を注文され、エビフライは器からはみ出していて、その量の多さにビックリ！！普段よりも多く召し上がってられました。カメヤマローソクタウンでは、各々がカップにお気に入りのろうそくの飾りを入れ、最後に蠟を入れて、世界に一つだけの蠟燭を完成できました。その後は蠟燭の工場見学や灯ミュージアムやローソクタウンストアへ行き、色々な形の蠟燭に触れることが出来ました。参加者の皆さん、食べて、作って、見て触って、笑顔沢山の一日となりました。（野田正史）



5月7日（水）三重県多気、三重VISONへ行ってきました。東京ドーム24個分の広さを誇る自然あふれる複合型商業施設です。100歳の渡邊美代子様は、大きな天ぷらを平らげ、ご夫婦で参加された池田全様はご夫婦漫才で同行したスタッフを笑顔にしてください、ご家族全員参加の田島慶子様からは道中、商売をされていた頃のお話を沢山伺うことができました。すずらん観光の会長を務める水野繁子様はお婿様と参加され娘様へ赤福餅のお土産を購入されておられました。親子で参加の土屋ツチノ様は、初めての場所に旅行前から楽しみにされておられ、すずらん観光で初めての場所へ行くことができ、新たな思い出のページになったこと、心から嬉しく思います。（水谷千亜希）



## 毎日の お料理



今年度の厨房は「挑戦と発見」という目標を掲げました。すずの郷の食事の方針は【コミュニケーション】です。視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚の5つの感覚を使って食事を楽しんでいただきたいと思い、毎日の食事をお年寄りの皆さんと一緒に作っています。お野菜の皮むき等は皆さんお手の手！手慣れた手つきで素早く切ってください。先日、浅野八重子様とおやつ作りに挑戦しました。メニューはタコ焼き機で作るベビーカステラです。ベビーカステラを作るのは初めてとのことで、「何ができるかワクワクする」とおっしゃっておられました。生地を流し込み、くるくると回します。初めのうちは中々うまくいきませんでしたが、二回目、三回目とやっていると、どんどん手早くなって、みるみる上達し、あっという間に完成していききました。作っているうちに笑顔が増えていかれ、一緒に作ることに楽しくて新しい発見ができました。また一緒に作ろうと約束しました。（林なぎさ）

